



【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

新入職員の紹介

このたび5月より、中国・四国中国帰国者支援・交流センターに事務員として働くことになりました、岡崎美佳と申します。みなさんが日本で快適な暮らしができますようお手伝いしていきたいと思っています。お会いした時には、気軽にどんどん声をかけてください。日本語で話してもらえると、とてもうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。



広島県防災相談説明会



消火訓練風景

4月18日(月)広島市総合防災センターで広島県の帰国者を対象に防災に関する相談説明会を開催しました。参加者たちは防災講座を受けた後、煙中避難や消火訓練、地震体験などを行いました。訓練を通して、災害時には日頃からの備えと心がけが、いかに大切かということがわかりました。

研修後は「ガラスの里」での昼食となりました。雨天のため、「ガラスの里」のご好意で、会場を提供していただき、楽しい食事となりました。

防災に関する様々な体験ができ、とても有意義な一日を過ごすことができました。



地震体験の様子

高知県社会見学会



5月14日(土)高知県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。今回は岡山県倉敷市を訪ね、美観地区を散策しました。

その後、由加神社に参拝し、案内係の人から神社の由来や香川の金刀比羅宮と両詣りをする事で御利益があることなどを説明してもらいました。

また「大茶盛」という顔がすっぱり入ってしまうような大きな抹茶茶碗でお抹茶をいただきました。慣れない正座に顔を歪めている人もいましたが、よい文化体験ができました。

五月晴れにも恵まれ、日本への理解を深め、参加者同士の交流を深めることもできました。次の機会にもぜひ参加できるよう、みなさん足腰をしっかり鍛え、元気にお過ごしください。



6月・7月の予定

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 6月18日 鳥取県介護相談説明会 | 6月25日 岡山県異文化交流会〔岡山県〕 |
| 鳥取県社会見学会〔鳥取県〕 | 7月7日 中国・四国ブロック支援機関連絡会 |

～日頃の備えを万全に～

☆ 防災相談説明会の研修テキストの中からいくつかをご紹介します。

地震の心得十カ条

- ① **身の安全を図る**
丈夫な机やテーブルなどの下に身を伏せる。
- ② **火の始末**
使っている火を消すことが大切。
- ③ **出口を確保する**
特にマンションなどでドアがひずむとにげられない。
- ④ **すばやく消火**
もし、かじになっても天井に燃え移る前なら消火は可能。
- ⑤ **ガラスに注意**
ガラスが散乱した室内では、スリッパや靴をはいて行動する。
- ⑥ **あわてて外に飛び出さない**
あわてて外に飛び出すと落下物でけがをする。身の安全と火の始末をしてしばらく様子を見る。
- ⑦ **門や扉には近づかない**
落下物、倒壊物で、思わぬけがをする。
- ⑧ **声をかけ合う**
大声で隣近所に声をかけ、初期消火、避難をする。避難の際は、お年寄り等の支援も忘れずに。
- ⑨ **協力し合う**
軽いけがなどの処置は、みんながお互いに協力し合って応急処置を。
- ⑩ **情報を聞く**
デマにまどわされない。テレビやラジオ、防災機関の災害情報にたえず注意する。

いざという時のために準備しておきましょう

◎水



◎懐中電灯・ローソク



◎食糧



◎ラジオ



◎マッチ・ライター



◎救急セット



◎衣類



◎貴重品



◎ナイフ・缶切り



◎防災ずきん・ヘルメット



◎非常持出袋



投稿募集

みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありませす、など何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか？原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。

みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

東日本大地震の発生以来、連日テレビでは、皆が関心を寄せている被災地のニュースが流れています。

すでに2か月以上経ちましたが、まだ多くの人々が避難所での生活を余儀なくされています。こんな光景を目にするたびに、涙をこらえることができません。きっと、皆さんも私と同じ気持ちでしょう。復興するには様々な困難があると思いますが、私たちは心をつなげて、共に困難を乗り越えましょう！（松葉）

第24号

平成 23 年 6 月 1 日 发行
(双月发行/年 6 回)



【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会
〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

新职员介绍

大家好，我叫冈崎美佳。从今年的 5 月起，开始在中国·四国中国归国者支援·交流中心工作。为了让大家在日本生活的更舒适，工作中我愿意尽最大的努力。今后见面时，欢迎大家和我用日语交流，我非常期盼着能有和大家沟通交流的机会。今后请大家多多关照。



广岛县防灾咨询说明会

4 月 18 日（周一）在广岛市综合防灾中心，以广岛县归国者为对象举办了防灾咨询说明会。与会者除了进行了防灾讲座，还参加了烟雾避难、灭火训练、地震体验等。通过这次训练，让大家深刻地理解了日常的防灾意识和准备所具有的重要性。

研修后在「玻璃之乡」进行了午饭休息时间。恰逢雨天，承「玻璃之乡」的好意，免费为大家提供了场所。大家高兴在那里吃了午饭。

既参加了各种防灾体验，又和大家一起度过了非常有意义的一天。



灭火训练时的情景



地震体验时的情景

高知县社会观摩会

5 月 14 日（周六）以高知县归国者为对象举办了社会观摩会。这次带大家到访了冈山县仓敷市的美观地区。

其后，又参拜了由加神社，义务导游还向大家介绍了神社的历史由来，以及如果还到香川的金刀比罗宫进行两参拜的话祈愿将会更为灵验。

在由加神社大家还用了几乎能把脸都能装进去的大茶碗体验了抹茶。其间虽然也有不习惯正坐的人，但是这也毕竟是一次很好的文化体验。

承蒙天公作美，在这风和日暖的五月，让大家即加深了对日本文化的理解，又增进了归国者之间的交流。希望大家今后还会积极参加中心的活动，为此一定要多多锻炼身体，增进健康。



6月·7月预定

6 月 18 日 鸟取县介护咨询说明会

鸟取县社会观摩会〔鸟取县〕

6 月 25 日 冈山县异文化交流会〔冈山县〕

7 月 7 日 中国·四国地区支援机关联系会

~有备无患~

☆ 向大家介绍防灾咨询说明会的部分研修内容。

十条地震注意事项

- ⑥ **确保身体安全**
躲到结实的桌下，保证身体安全。
- ⑦ **关闭火源**
一定要注意关闭正在使用的火源。
- ⑧ **确保出口**
特别是公寓等楼房建筑的门发生变形时，很难外出避难。
- ⑨ **迅速灭火**
如果发生火灾，当火势燃烧至屋顶之前还有灭火的可能。
- ⑩ **注意玻璃碎片**
室内如果到处都是散落的玻璃碎片，要穿上鞋或拖鞋进行行动。
- ⑥ **不要慌忙向外飞奔**
惊慌失措的向外飞奔时，容易被上方落下的东西砸伤。所以在确保自身安全及关闭火源后要多做观察。
- ⑦ **不要在门或围墙附近**
因物品从上方落下或倒塌，易发生意想不到的伤害。
- ⑧ **大声通知近邻**
大声通知近邻，进行初期灭火或避难。避难时，不要忘记帮助老弱病残。
- ⑨ **同心协力**
对待轻伤时，大家应该相互协助，进行紧急处理。
- ⑩ **听取情报**
不可轻信流言。时时通过电视、电台和防灾机关来把握灾害时的正确情报。

以备万一，做好准备！

◎水 	◎手电·蜡烛 	◎食品 	◎收音机
◎火柴·打火机 	◎急救箱 	◎衣物 	◎贵重物品
◎小刀·罐头起子 	◎防灾兜帽·安全盔 	◎紧急备用袋 	

征集投稿

向大家征集稿件。内容不限，可以是日常生活琐事，也可以是追忆往昔，或者是介绍专项所长。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗？原稿的字数限 400 字以内，投稿方式可以是直接送到中心，或者是邮寄、传真均可。

期盼大家积极踊跃的投稿！

编辑后记

自从 3 月 11 日发生东日本大地震以来，每天打开电视看到的都是大家非常关注的灾区新闻。虽然已经过了 2 个多月了，还有好多人过着避难生活，每当看到这样的情景时，我都会忍不住落泪，相信大家也和我的心情一样吧。复兴建设虽然困难重重，让我们大家风雨同舟、同心协力、共渡难关吧！

(松叶)